

いので、標準化に適していると思われる。しかし、国内では INR の治療域が決まっていないという課題も残されている。現場としては、国内での経口抗凝固療法のコントロールは TT (%) でもかまわないと感じた。しかし、国際的な標準化にむけて、国内でも PT (INR) をとり入れることが望ましい。当院でもコントロールに用いていきたい。

### 3) 急性期くも膜下出血患者における凝血学的検討

藤井 幸彦・佐々木 修 (桑名病院 脳神経外科)  
 皆河 崇志・竹内 茂和 (新潟大学脳研究所)  
 小池 哲雄・田中 隆一 (脳神経外科)

【目的】急性期くも膜下出血患者を凝血学的に検討し、神経学的重症度、CT 重症度および予後との相関について考察すること。【対象】4年間に入院したくも膜下出血患者 206人 (男84人, 女122人) を対象とした。【方法】①入院時に神経学的重症度 (Hunt & Kosnik 分類), および CT 重症度を評価し、凝固線溶検査を施行した。②急性期手術を原則とし、予後は発症3ヶ月後に判定した。【結果】①入院時の神経学的重症度の程度と凝固系の賦活 (Thrombin-antithrombin III complex (TAT) 値の上昇) の程度および線溶系の賦活 (Plasmin- $\alpha_2$ -antiplasmin complex, FDP, D-dimer 値の上昇) の程度と有意に正の相関を示した。②CT 上のかくも膜下出血の程度と凝固系、線溶系の賦活の程度は有意に正の相関を示した。③脳内または脳室内出血の合併例は、非合併例に比して凝固系、線溶系の賦活の程度が有意に強かった。④予後の重症度と凝固系、線溶系の賦活の程度は有意に正の相関を示した。⑤TAT が 50 ng/ml 以下の患者はすべて予後良好 (Excellent, Good 又は Fair) で、250 ng/ml 以上ではすべて予後不良 (Poor 又は Dead) であった。⑥Grade IV および Grade V では、予後不良群は良好群に比べ TAT が有意に高値であった。⑦血小板凝集能は、重症度や予後とは有意な相関を示さなかった。【結語】①くも膜下出血の急性期では凝固系のみならず線溶系も賦活されていた。②賦活の程度は、神経学的重症度、CT 重症度および予後と相関した。③特に TAT 血中濃度は予後と良く相関し、入院時に予後が予測できる可能性が示唆された。

### 4) 面積法を用いた血小板凝集抑制システムの検討

水戸 将郎・吉岡 隆平 (新潟こばり病院)  
 蒲澤 壮夫  
 布施 一郎・樋口 涉 (新潟大学第一内科)  
 柴田 昭

目的: 今回凝集能検査に凝集面積のファクターを加えた薬効解析システムにつき検討した。対象: 正常人14例, 抗血小板剤投与前患者83例, アスピリン (ASA) 服用者42例, チクロピジン (TPD) 服用者110例 ASA + TPD 服用者61例。方法: Citrated PRP (plt  $30 \times 10^4 / \mu\text{l}$ ) における ADP1, 10  $\mu\text{M}$ . Collagen 2, 5  $\mu\text{g/ml}$  の各2濃度の凝集パターンを解析し ADP, Collagen を1—9までの判定クラスとして検討した。結果: 判定クラスによる薬剤投与量の変更は、クラス9—7までの場合薬効不十分とし、それぞれ ADP の結果からは TPD を増量し、Collagen の結果からは ASA 増量とした。クラス6—4の場合薬剤投与量の変更は行わず、クラス3—1の場合はそれぞれの薬剤を減量または中止とした。まとめ: 本測定法は抗血小板剤の選定および、薬剤投与量の決定や出血などの合併症の予防、薬剤効果の標準化にも有用と考えられる。

### 5) レーザー散乱粒子計測法による血小板凝集能の測定

#### —第1報 紹介と虚血性脳疾患例の検討—

本間 正恵・吉田 和永 (佐渡総合病院)  
 小宮山謙一・中川 香織 (血液検査室)  
 楊 麗波・服部 晃 (同 内科)  
 本間 義章 (同 神経内科)

【目的】新しく開発された PA-100 は、レーザー光を血小板凝集塊に照射しそこから発する散乱光を測定するもので、凝集塊の大小や数を定量的、経時的に測定できる。本機の機能を紹介し、正常人、および虚血性脳疾患の成績を報告する。

【対象と方法】正常人としてドック20例 (A群)、虚血性脳疾患の抗血小板剤非使用43例 (B群)、抗血小板剤使用40例 (C群) について Epinephrine 1  $\mu\text{M}$  による最大S凝集塊数 (S-max), 面積 (S-S), 最大L凝集塊数 (L-max), 面積 (L-S), 最大凝集率 (T) を測定し、ADP 1  $\mu\text{M}$  および自然凝集についても同様に測定した。

#### 【結果とまとめ】

1. A群とB群では、ADP の L-max, L-S, 自然凝集の S-max, S-S でB群が高値を示した。

2. A群とC群では, Epinephrine の S-S, 自然凝集の S-max, S-S, TでC群が高値を示したが, Epinephrine の TではA群の方が高値であった.
3. B群とC群では Epinephrine のT, ADP のL-max, TでB群の方が高かったが, Epinephrine の S-S ではC群の方が高値を示した.

は手術成績の向上に寄与する可能性があると思われた. また下垂体前葉予備能が低下している患者には改善が期待でき, 手術による下垂体機能低下の発生を防止できる可能性があると思われ, invasive large adenoma でも使用する価値があると思われた. 副作用として1例に一過性の下痢を認めた. 至適投与量や方法については今後の検討を要する.

## II. 特 別 講 演

### 『ASO をめぐる最近の知見』

神戸大学医学部第二外科教授  
岡 田 昌 義 先生

- 3) 少量の CB 154 療法が著効を示し, 正常の妊娠, 分娩を経験したクッシング病の1例 (統報)

金子 兼三 (長岡赤十字病院 内科)  
山田 潔・須藤 寛人 (同 産婦人科)

症例は28才, 女性. 少量の CB 154 療法が著効を示したクッシング病で, 第56回 (平3. 11.) の本会で報告した症例の統報である. 平3. 6. より CB 154 0.625 mg/日の少量投与を継続しているが, 副作用はなく, 血中 ACTH, コルチゾール, 尿 17 OHCS, 17 KS は常に正常域に抑制されていた. 平5. 7. 妊娠成立. 妊娠後も陣痛開始まで CB 154 の投与を継続したが, 妊娠の経過は順調で, コルチゾール (10.00 前後の値) が 10.0~24.2  $\mu\text{g}/\text{dl}$  と妊娠前に比し若干上昇傾向を示したほかは, ACTH, 尿遊離コルチゾール, 尿 17 OHCS はいずれも正常域のまま経過した. 平6. 4. 27に 3,555 g の健常男児を正常分娩した. 分娩後 CB 154 療法再開したが, 分娩5日後の PRL 79 ng/ml で少量の乳汁分泌も認められた. 生後3日目の児の朝の ACTH 33.5 pg/ml, コルチゾール 9.0  $\mu\text{g}/\text{dl}$  と正常域で, その後の発育も正常である. (結論) CB 154 療法は副作用が少く, 女性では妊娠も可能で, クッシング病で最初に試みるべき治療法の1つと考えられる.

### 第62回新潟内分泌代謝同好会

日 時 平成6年9月3日 (土)  
午後2時  
会 場 新潟ワシントンホテル  
4階 大和の東の間

#### I. 一 般 演 題

- 1) メルカゾールによる無顆粒球症に G-CSF が有効であった Graves' disease の1例  
齊藤 功・太田 隆志 (木戸病院内科)  
浜 齊

- 2) 末端肥大症に対する術前 octreotide 治療の有用性

田村 哲郎・岡崎 秀子 (新潟大学脳研究所)  
田中 隆一 (脳神経外科)

末端肥大症の手術成績は microadenoma はともかく macroadenoma では必ずしもよくないので, ソマトスタチンアナログである octreotide で前治療を行い, その有用性を検討した. 対象は手術単独では正常化困難と思われた本症患者4例 (男1女3, 年齢28~60歳) で octreotide を 135  $\mu\text{g}/\text{日}$ , 12回分割皮下注より開始し, 適宜増減した. その結果腫瘍の縮小は3例に多少なりとも認められたが, 海綿静脈洞浸潤があった3例の GH は正常化せず後療法を必要とした. 1例の expansive adenoma では正常化し大きな expansive adenoma で

- 4) Glucokinase 遺伝子 5' 上流での遺伝的多型性

山崎 雅俊・羽入 修  
伊藤 正毅  
他内分泌班一同 (新潟大学第一内科)

【目的】近年, MODY において Glucokinase 遺伝子の異常が発見され, 糖尿病疾患感受性遺伝子の1つとして注目されているが, この遺伝子近傍での遺伝的多型性を検索することにより, 遺伝子異常のスクリーニングが